

**第 8 期三田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(案)に対する
市民意見募集の結果と意見に対する市の考え方について**

1 実施概要及び結果

- ① 実施期間 令和 2 年 1 2 月 2 1 日（月）～令和 3 年 1 月 2 0 日（水）
- ② 閲覧方法
 - (ア) 介護保険課、暮らしの情報コーナー（市役所本庁舎 1 階）での閲覧
 - (イ) 各市民センター等での閲覧
まちづくり協働センター、各市民センター 8 か所
地域包括・高齢者支援センター 6 か所
 - (ウ) 市ホームページでの閲覧
 - (エ) ケアマネジャー、介護相談員への周知、介護サービス事業所への周知文書の送付
- ③ 意見の提出方法
住所、氏名、電話番号等を記入して、郵送、FAX、Eメール等で提出
様式は自由
- ④ 意見件数 16 件（2 名）

2 意見の概要と市の考え方

【計画案を修正するもの】…5 件

- ①第 1 章 7. 日常生活圏域の設定
⇒「各圏域の人口等一覧表」に介護施設等のサービス事業所数を追加
- ②第 4 章 施策の展開
⇒「基本目標の成果指標」の表中に関連する施策項目の番号を追加
- ③Ⅱ-3-(2)サービスの質の確保・向上
⇒「地域包括支援センターと連携」について表現修正
- ④Ⅱ-4-(1)認知症の知識の普及啓発と支援体制づくり
⇒「警察との連携強化」について表現追加
- ⑤Ⅲ-2-(2)権利擁護の推進
⇒「できるだけ早く解決」について表現修正

【提案として、計画推進の参考とするもの】…11件

【計画案を修正するもの】

No.	意見（要約）	市の考え方と対応 (※_は計画書修正予定部分)
①	(P7 日常生活圏域の設定) 日常生活圏ごとの介護施設の設置状況や職員数も付け加えてあればさらに分かりやすいと思います。	各圏域の人口等一覧表に介護施設等のサービス事業所数を追加して記載します。
②	(P61 他 基本目標の成果指標) 施策の取り組み事項が多く、具体的な取り組み事項と目標の成果指標との関連性が不明確のように思います。 また、評価指標の測定の仕方も提示しておくとうよいと思います。	具体的な施策の取り組み内容と成果指標との関連性を明確にするため、各成果指標一覧に関連する施策項目の番号を追加して記載します。 評価指標の測定の仕方は取り組み内容により様々ですが、今後、年度ごとに計画の事業評価を実施し公表していく中で、評価指標の測定の仕方を提示していきます。
③	(P71 介護サービスの質の確保・向上の今後の方向性) 「虐待や認知症をキーワードに地域包括支援センターと連携」とあるが、特別なケース以外でも、日々連携している。虐待や認知症でないと連携できないのか？と誤った印象を与えてしまうので「日々連携しているが、虐待や認知症などのケースは特に連携を強化します」などの文章にしてはどうか。	本来は、介護相談員の訪問活動の充実の内容として、介護相談員が訪問した際に、虐待や認知症高齢者への対応に係る問題が疑われるケースがあった場合に、報告を受けた市が地域包括支援センター等の機関と連携しながら対応することを念頭に記載されるべき文ですが、不十分ですので次の記載に改めます。 <u>○介護相談員の訪問時に、虐待等が疑われるケース等に適切に対応できるよう、研修等による相談員活動の充実を図ります。</u>
④	(P74 認知症の知識の普及啓発と支援体制づくりの今後の方向性) 認知症高齢者への行方不明や事故防止の方向性に「警察との情報共有や連携強化」を追加してはどうか。	ご提案を受け、下線部を追記します。 ○行方不明となることの事前防止、万が一の事故発生や緊急時に対応するため、徘徊の恐れのある高齢者のGPS端末利用、賠償責任保険やセーフティネット等の備えの促進を図るとともに、行方不明時の早期発見の体制構築のため市民への啓発や警察との連携強化に取り組めます。
⑤	(P78 権利擁護の推進の今後の方向性)	ご提案を受け、下線部を変更します。

<p>高齢者の人権に関する方向性の中の「虐待などの事案解決が困難な場合、的確な対応を行って、事案をできるだけ早く解決します」を63頁の「虐待発生時に迅速で適切な対応が行えるよう」と文言を揃えて「的確な対応を行い、事案を迅速に対応できるよう努めます」としてはどうか。</p>	<p>対応するだけでなく、解決することを重視しています。</p> <p>○虐待等の事案解決が困難な場合、専門職（弁護士、社会福祉士）の助言を受け、<u>的確な対応を行い、事案の迅速な解決に努めます。</u></p>
--	---

【提案として、計画推進の参考とするもの】

No.	意見（要約）	市の考え方と対応
1	<p>(P8～P21 人口・世帯数について)</p> <p>三田市の就労人口のまとめのなかに、収入の指標になるデータを入れると負担と支給のバランスが分かりやすいと思います。</p> <p>就労人口の減少に向けて人、物、金の視点からも計画案が評価できるとよりベターだと思います。</p>	<p>介護保険制度においては、給付と負担の関係を明確にし、かつ利用者の選択による利用を可能とするため、社会保険方式が採用されています。具体的には給付費の50%を国県市が賄い、第1号被保険者（65歳以上）が23%、第2号被保険者が27%を負担することが定められています。第2号被保険者（40～64歳）の保険料については社会保険診療報酬支払基金により負担割合分が交付されることから、本計画では3年ごとに第1号被保険者の推計及び保険料算定を行っています。</p> <p>評価の指標につきましては、ご意見を参考として進行管理を行ってまいります。</p>
2	<p>(P22～P27 給付の状況について)</p> <p>給付の状況をみると、平成30年度と令和元年度の比較がなされていますが、平成30年度の実績値が令和元年度の計画値にいかされていないように見えます。</p> <p>こうした関連予算は、保険料とも関係づけて説明できる資料にするべきだと思います。</p>	<p>給付の見込みにつきましては、計画策定時に、その時点での給付状況や人口推計、介護報酬改定や施設整備予定等を元に3年間分の算定を行っています。これについては、計画年度中に計画数値を補正しないため、給付の実態との乖離が生じます。特に事業毎で見ると、利用の状況や新規施設の整備時期がずれるなどが原因で乖離が生じます。</p> <p>ただ、集計すると27ページにあるように、全体では9割前後の支給率となっており、概ね計画通りと記載しました。</p> <p>今期の給付費につきましても制度改正等を反映しながら算定し、これらを基に保険料を決定します。保険料基準額の推計手順につき</p>

		ましては、3月の計画策定時に掲載いたします。
3	<p>(P36～P47 日常生活圏域ごとの状況)</p> <p>現状の分析と将来の動向について、団塊の世代と団塊ジュニア世代の影響を推定しながら、三田市内の6地域の日常生活圏ごとのアンケート調査を加味して分析されているのはわかりやすくそれぞれの地域での資料としても非常に役に立つと思います。</p> <p>こうした資料は高齢者や介護事業にだけ使用するのではなく広くまちづくりにかかわる地域の区長会などにフィードバックするのがベターだと思います。</p>	<p>ご指摘のとおり、日常生活圏域ごとの状況などの高齢者を取り巻く現状分析は高齢者福祉や介護保険事業だけでなく、まちづくり全般に生かしていく必要があると認識しています。</p> <p>これらの分析結果について、まちづくりを担う庁内の他部署と連携し、区長会など地域へ情報発信していくよう努めていきます。</p>
4	<p>(地域包括ケアについて)</p> <p>「在宅での暮らし」を支えるシステムの構築と運用がきちんとなされているのかのチェックと改善が重要な課題だと思います。</p> <p>地域包括ケアシステムの視点は、介護を必要とする高齢者が安心して住めるまちづくりをしようということなのですが、たとえば高平地域でさらに高齢化が進むとして介護を必要とする高齢者に応じた地域住民同士の支え合いをどのように進めてゆくのか見えてきません。</p> <p>ニュータウン地域と昔からの既存地域では状況が異なっているのが当たり前なので施策も違って当然です。</p> <p>たとえば日常生活圏6地域の介護状況も含めたまちづくりの進捗状況を点数で評価するなどの見える評価をし、市民に知らせることも重要だと思います。</p>	<p>地域包括ケアシステムの構築については、「自助・互助・共助・公助」により、広く支え合うことをベースとしています。地域住民同士の支え合いは「互助」であり、学校区等の単位で活動される地域活動組織が主体となって、地域の実情に応じ様々な取り組みを進められています。市では、各圏域に生活支援コーディネーター兼地域福祉支援員を配置し、取組方法やその推進について共に考え、助言や必要な情報提供を行うとともに、活動への財政的支援を行うなど、地域の活動を側面から支援しています。</p> <p>一方、介護施設等介護保険サービスは「共助」、公的な福祉サービスは「公助」となりますが、これらは、圏域に関わらず市全域を対象とするため、整備・構築の計画及びその進捗評価は市全体として行い、本計画により進行管理するものです。</p> <p>また、介護状況も含めたまちづくりの進捗状況については、市の総合計画と整合性を保ちながら、関係部局と情報共有を図っていきます。</p>
5	<p>(P61 他 基本目標の成果指標)</p>	<p>計画策定にあたっては、国が示す調査項目に従い、ニーズ調査等について、独自項目も設定しながらアンケートを実施しております。</p>

	<p>目標達成度とか介護を受ける側の満足度というような概念は指標として必要はないのですか。</p>	<p>す。ご意見の、目標達成度や介護を受ける側の満足度といった視点は重要であると認識しておりますが、指標とするにあたり、どういった事項が目標達成や満足度に当たるのかといった議論や検証が必要であることから、今後のアンケートの設問、指標項目の設定についての検討課題とさせていただきます。</p>
6	<p>(P67 介護予防・日常生活支援総合事業の充実の具体的な施策一覧、今後の方向性)</p> <p>具体的な施策一覧の取り組み内容に「訪問型（指定介護予防訪問介護相当、サービスA、サービスB）、通所型サービスを実施している」とあるが訪問サービスAは実施していないため、表現を変更してはどうか。</p> <p>また今後の方向性について「訪問型サービスAの実質的な活用・訪問型サービスBの提供体制拡大について検討していきます」とするといいいのではないか。</p>	<p>具体的な施策一覧については、市が事業として実施する内容を記載しており、訪問型サービスAについては、市内3つの指定事業所があります。現在、利用がないことから、要支援認定者やケアマネジャーへの周知が必要と考えます。</p> <p>訪問型サービスBについては、さんだシルバール人材センターと連携し、人材確保のための従事者研修に取り組んでおりますが、一方でニーズ増加の顕著さはなく対応可能な状況です。サービスAとともに、事業の周知が必要と考えます。</p>
7	<p>(P68 介護サービスの整備の今後の方向性)</p> <p>地域によっては若い人が戻ってきてくれたり、よその土地の人が三田に住みたいと思うようなまちづくりをしなければ先が見えないと危惧しています。</p> <p>介護施設も生活基盤を支える施設ですから高齢化とともに移住の重要な条件になると思います。</p>	<p>地域資源として介護施設やサービスが重要とのご意見ですが、現在の三田市の状況から、在宅生活の維持や認知症対応という点を重視し、本計画期間中の事業所整備予定として、市民の方を対象としたサービスである地域密着型の定期巡回・随時対応型訪問介護看護、認知症グループホームを記載しました。</p> <p>ご意見のとおり、施設数やサービス提供の状況において、地域によって差が生じておりますので、整備にあたりましては、サービスの提供範囲も考慮しながら行う予定です。</p>
8	<p>(P72 介護人材の確保・育成の今後の方向性)</p> <p>介護事業は、事業としては慈善事業ではなくてビジネスとして成立していないと持続安定性がありません。</p> <p>介護職の方は依然として低賃金ですから市として介護職の皆さんに直接補助してはどうかと思います。</p>	<p>介護職員の方の処遇改善につきましては、高齢化が進む中、介護サービスを安定的に提供していくため、人材確保の点から、国において、処遇改善が行われているものの、他の職種に比べ課題が多い状況です。</p> <p>市といたしましても、介護人材の確保は重要な課題であると認識しており、本計画期間中の具体的な取り組みとしては、収入アップ</p>

	<p>介護の仕事をするなら三田市だということになるとベターだと思います。</p>	<p>につながる資格取得にかかる費用補助を検討しています。</p> <p>今後も介護職員の職場定着を図るための支援策を検討していきます。</p>
9	<p>(P74 認知症の知識の普及啓発と支援体制づくりの現状と課題)</p> <p>初期集中支援事業が開始し3年経過したが、ケアマネ、介護事業所への周知は低い。また、現状ではチーム員の訪問のみであり、相談してからのタイムラグがある。3年経過したため、今までの支援方針を一旦評価する必要がある。また専門医のアウトリーチの必要性など今後の検討課題としてほしい。</p>	<p>必要とする人に迅速かつ適切に利用していただくためには、市民や支援に関わる専門職、事業所等関係者への周知は重要と考えます。</p> <p>三田市地域包括支援センターに配置する、認知症地域支援推進員を中心に事業を展開していますが、各圏域の地域包括支援センター・高齢者支援センターと連携し、より広く事業の情報提供、対象者の把握を進めていきます。</p> <p>専門医のアウトリーチを含む訪問支援内容については、相談ケースごとに専門医を含むチーム員会議で計画し実施され、必要性の判断がなされることとなりますのでご理解をお願いします。</p>
10	<p>(P75 早期発見・早期対応の具体的な施策一覧)</p> <p>「認知症ガイドブックを活用し」とあるが実際は活用できていないと思われるため「用いて」などに表現を変更してはどうか。</p>	<p>具体的な施策一覧については、市が事業として実施する内容を記載しており、市では「認知症ガイドブック(認知症ケアパス)」を活用し、早期発見・早期対応の重要性を啓発することとしています。国においても、認知症ケアパスの活用促進を掲げており、認知症地域支援推進員と連携し、相談支援の場面で有効に活用されるよう内容の改善や専門職の意識向上を図ります。</p>
11	<p>(P75 基本目標Ⅱの成果指標)</p> <p>認知症初期集中支援チームが支援した年間高齢者数の目標値が令和5年度30人とあるが、これまでの実績から見ると下方修正した方がいいのではないか。</p>	<p>今後、高齢化の進行に伴い、認知症高齢者数の増加も予測されることから、現チーム員体制で可能な稼働を勘案し目標値を定めています。事業周知や対象者の把握が十分でないことが考えられるため、必要とする人の適切な利用の促進を目指します。</p>